

2023年度定時総会における発言通告書についての回答

会費について

- ・ 会費が高い（2件）
- ・ 金額なりの情報発信をしてほしい。



会費内訳 18,000円 （日本栄養士会 6,500円 + 新潟県栄養士会 11,500円）

* 会費につきましては、他県と比べても高いことは十分認識しており、現状会費の減額も会員減少のなか非常に厳しい状況であります。

職能団体として地域住民と関わるのが強く求められている中で、会員の皆様と管理栄養士・栄養士のアピールをしていくと共に、研修会・情報提供・業務相談などで皆様のサポートができる会にしたいと思っております。

* 情報発信については現在ホームページの充実をはかり、インスタグラムも含め随時更新を行っております。また、メールの一斉送信も行っておりますのでご確認いただきたいと思います。今後も更なる内容の充実をはかりたいと考えております。

委任状の押印の見直しについてご検討いただきたい。



押印を廃止し、自署のみの委任状も効力があるということで来年度より変更する方向で検討しております。

児童福祉分野の研修や取り組みなどをもっと増やしてほしい。
高齢福祉に重点を置きすぎている。
栄養士会に入っている意味がない。



ご意見の通り、超高齢社会の対応が多い現状です。
しかし同時に少子化でもあり、今後は日本栄養士会も出生前からの対応を考慮していく予定です。
なお、今年度の取組として、小児期からの生活習慣病予防を目的とした「新潟県小児肥満等発育調査」の継続実施や学校健康教育事業部が生涯教育実務研修会にて子どもの食行動について計画をしております。

栄養教諭を教諭・養護教諭・事務職員のように必置の職員となることを望みます。せめても定数改善は必要と考えます。栄養教諭の就職を希望しても数人の採用または採用無しの自治体が多いです。栄養教諭の絶対数の不足が食育推進を阻む一因と考えます。



ご意見につきましては県栄養士会としても同感です。この問題は県栄レベルで解決策を見出すことは困難であり、このような声を自治体、国へと上げて審議してもらわなければなりません。

上記のような声を集約し、国へ上申してくれる組織が日本栄養士連盟です。この団体は管理栄養士・栄養士が組織し、管理栄養士・栄養士の地位向上のため活動を行っております。新潟県においても日本栄養士連盟新潟支部があります。